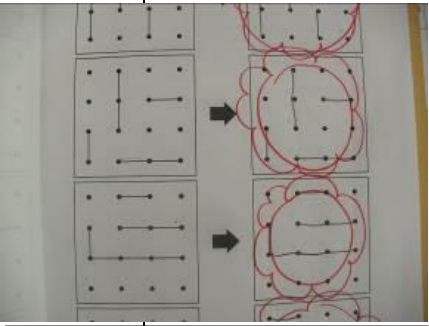


特別支援学級 実践事例

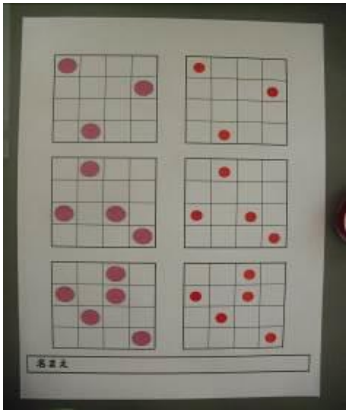
校種(教室の種別)	小学校 (知的障がい特別支援学級)	本事例の教科等名	自立活動
<p>在籍児童生徒の実態</p>	<p>○学習に対して意欲的な児童が多い。 ○ブランコやボール投げ、おにごっこが好きでよく走り回って遊んでいる児童が多い。 ○視空間認知や目と手の協応が弱く、音読や書字が苦手である。 ○集中して、注意深く作業を進めることが苦手である。</p>	<p>目標 ・ 指導 内容</p>	<p>・集中してよく見る力を身につけることができる。 【4環境の把握(2)】 ・見本通りにシールを貼ったり、点つなぎをしたりすることで空間認知力を高めることができる。 【5身体の動き(5)】</p>
<p>指導の経過・工夫点・子どもの変容</p>	<p>○間違いさがし ・3分間一人で間違いを見つける。分からない子どもには「右上を見てごらん。」「左下を見てごらん。」とヒントを伝える。 ・3分後答え合わせをする。「マンホールの模様が違います。」「リュックサックの大きさが違います。」など間違いの箇所をできるだけ言葉で伝えさせる。実物投影機を使って発表のあった個所に○をつけていく。 ○個別の課題</p>		<p>点つなぎ(左の見本と同じ位置の点をつなぐ)</p> <p>醤油差しの蓋を開け、色水を入れて、蓋を閉めて、置く</p> <p>シール貼り(左の見本と同じ位置にシールを貼る)</p>
<p>成果と課題・今後の方向</p>	<p>○課題にていねいに取り組めるようになってきている。 ○ノートや漢字プリントの文字が少しずつ整ってきている。 ○自立活動の時間を楽しみにしていて、意欲がわいてきている。 ○在籍児童が6名で、個別に課題を抱えているので、それぞれ違った個別課題に取り組んでいる。しかし、友だちのやっていることが気になって集中できないこともあるので、パーテーションなど環境を整える必要がある。また、即時評価が難しい。</p>		



点つなぎ(左の見本と同じ位置の点をつなぐ)



醤油差しの蓋を開け、色水を入れて、蓋を閉めて、置く



シール貼り(左の見本と同じ位置にシールを貼る)

- ・飽きないように数種類準備する。
 - ・正しく、ていねいに取り組むように声をかける。
 - ・集中して取り組めるように課題の時間を10分とする。
 - ・花丸やできた個数、時間など子ども自身スキルが上がっていることを実感できるようにする。
- *音読は、国語の授業のはじめに10分間を「読むトレ」として、単語を読み、意味の確認を行っている。

